ASU communication

愛知産業大学
校友会 会報誌
2016
vol.14

contents

02 - Message from ASU
03 - News & Topics
04 - Message from ASU Communication
06 - HARAYAMA Festival
08 - Voice of OB･OG
14 - Information

ASU
AICHI SANGYO UNIVERSITY

MESSAGE FROM ASUM

校友会からのご挨拶

爽秋の候、校友会会員の皆様も、ますますご健勝のことと申し上げます。新しく校友会の仲間となられた会員を歓迎いたします。今年ご卒業された卒業生の皆様は正会員として、4月に入学された在学生の皆様は準会員として、ご新任の教職員の先生方は特別会員として校友会の一員となります。校友会は、卒業生の有志が中心となり、大学と協力しながら運営する、いわゆる同窓会のことです。会員相互の親睦と母校である大学の発展に寄与することを目的に活動を続けています。

今、日本の大学は18歳人口の激減に際して改革の必要に迫られています。私たちの母校も例外ではない状況が続いていることと思われます。これに対し、母校の価値が広く社会に認められ、進学先として選ばれるために、私たち卒業生にできることを見つけ大学と協力して行動していく必要があります。校友会は「準会員募集事業」として、大学と協力していく土台と予算を用意いたしました。母校に対して私たち卒業生にできることを話し合い、形にしていく機会も用意します。卒業生の皆様のご協力を重ねてお願いいたします。

校友会のサイト（http://www.asu-mate.com/）、Facebook「愛知産業大学校友会」をご覧ください。会員の皆様からのご参加、ご提案、ご意見、ご協力をお待ちしております。

先生方の異動情報

■ 退　職

村上泰介……造形学部 / 准教授
米村まろか……造形学部 / 准教授
（8/31付）
今井昌彦……経営学部 / 教　授
宮脇敏哉……経営学部 / 教　授

■ 新　任

奥田真之……経営学部 / 教　授
加藤　晃……経営学部 / 教　授
林　達明……経営学部 / 教　授

退任された先生方、在任中の熱心なご教授ありがとうございました。感謝の気持ちを込めて紹介させていただきました。

NEWS & TOPICS

愛産大 NEWS&TOPICS

【クラブ・同好会活動 平成27年度実績】

■アーチェリー部

東海学生アーチェリー王座出場校決定戦…団体1位（男・女）
東海学生アーチェリー選抜選手権大会本戦…個人3位（男）
……団体2位（男）
第54回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦…団体5位
第50回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦…団体4位
東海学生アーチェリー個人選手権大会本戦（トーナメント）
……1、2位（男・女）
第54回全日本学生アーチェリー個人選手権大会……4位
第70回国民体育大会・アーチェリー競技……県代表
2016年U-20ナショナルチーム選考会……個人6位（女）
※ナショナルチームメンバーに
東海学生アーチェリーインドア選手権大会…個人1、2、3位（男・女）
……団体1位（男・女）

■女子柔道部

東海学生柔道夏季優勝大会……団体3位
熱田神宮奉納柔道大会……団体3位
国民体育大会 成年の部 愛知県予選…70kg級以下優勝
全日本学生柔道優勝大会……ベスト16
第70回国民体育大会・柔道競技……県代表
愛知県学生柔道新人選手権大会……団体3位
東海学生女子柔道体重別選手権大会…57kg級優勝
……63kg級ベスト8、78kg級優勝
湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会…57kg級ベスト16

■ゴルフ部

中部学生ゴルフ選手権……出場
愛知県学生ゴルフ選手権……出場
会長杯中部学生ゴルフ選手権競技……出場

■男子バレーボール部

第139回・東海大学バレーボール春季リーグ…3部・2位
……2部昇格
第140回・東海大学バレーボール秋季リーグ 2部・3位
……ベストスコアラー賞1位
第9回・愛知県大学 春季リーグ…3部・1位、2部昇格
第10回・愛知県大学 秋季リーグ…2部・1位、1部昇格

■硬式野球部

愛知大学野球連盟 春季リーグ戦……2部・2勝8敗
愛知大学野球連盟 新人戦……4勝1敗
愛知大学野球連盟 秋季リーグ戦…2部・8勝2敗、1部昇格

■スキー部

東海学生基礎スキー選手権大会…新人戦・6位入賞

同好会一覧

●バスケットボール ●フットサル ●軟式野球 ●バドミントン ●ボウリング ●ラグビー ●キックボクシング ●バレーボール ●軽音楽 ●現代視覚文化研究 ●漫画研究 ●紙ねんDo好会 ●建築 ●教職・公務員研究会 ●地域振興研究 ●ASUボランティア ●カードゲーム ●写真 ●創作活動 ●アーキテクチャーコンペティションチーム ●ダンス ●旅行 ●JAZZ ●デジタルコンテンツ制作 ●ヲタ芸

【岡崎市と包括提携協定を締結】

9月28日、岡崎市役所にて、岡崎市と愛知産業大学の連携協力に関する包括協定が締結されました。内田市長と堀越学長により協定書に署名がなされ、今後地域振興、まちづくり、人材育成、生涯学習といった分野を中心に、岡崎市の発展のために、より一層の協力関係を進めていくことが確認されました。

▶「市政だより」の表紙デザインを依頼されるなど、取り組みはスタートしています。

【PLASUがGOOD DESIGN AWARD 2015受賞】

「言語・情報共育センター（PLASU）」が2015年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。PLASUはstudio velocity（栗原健太郎氏・岩月美穂氏）によって設計され、両氏は本学建築学科非常勤教師も務めています。同じく、2015年中部建築賞、平成27年度日事連建築賞奨励賞も受賞いたしました。

We are Made in ASU!

愛知産業大学は、5,000人以上の卒業生を輩出し、そのほぼ全員が現役で活躍している若い大学です。建築・デザイン・経営と幅広い分野で、地元岡崎で、日本中で、こんな仕事をしている、役員になっている、起業した、お店を造った、有名になっている。などなど…「ASU卒業生は、こんな所で、こんな仕事をしています!」 大きなプロジェクトから、身近な制作物まで。卒業生を通して、受験生を持つ保護者や高校教員、広く世間に、愛産大を知ってもらう企画です。

1-1 自身のプロフィールに「愛知産業大学卒業」とアピールしてください!

Facebook、twitter、LINEなどのSNSプロフィール、作品展や著書のプロフィール、名刺や自営の会社概要などに、「愛知産業大学卒業」と記載して、母校と、卒業生であることをアピールしてください! 勤め先の名刺に、出身大学を記載する呼びかけをお願いします。

1-2 愛産大卒業生ステッカー、Tシャツ、ロゴマークを使って目立ってください!（now printing）

店舗、作品、服、カバン、出店ブースなどにロゴマークやステッカーを貼ったり、出演、出店イベントなどでTシャツを着用して「私、愛産大卒業生です」をアピールしてください!（コラボ事業参加登録、「ステッカー、Tシャツ希望」欄に〇をしてください）校友会webサイトにて、ロゴのダウンロードや、ステッカー、Tシャツ追加希望も受け付けます。

卒業生の活動を支援します!

愛知産業大学校友会では後援事業として、卒業生数名が主催して自主的に行うグループ展や、卒業生を対象とした講演会、研修会、非営利事業などの企画に対して、ある程度の費用を支援します。ただし、校友会の後援事業として適切であるか審査を行います。

事例 産業デザイン学科 3期生、5期生が携わる、常滑市「まちライブラリー」合同イベントが開催されました。TOKONAME HUB TALK 7/2(土)、夏夜のみんなのうたLIVE 7/24(日)、Facebook「トコナメハブトーク製作委員会」校友会は、後援として経費の一部を支援しました。

同窓会を支援します!

母校で同窓会を開きませんか? 日程、人数、企画内容などの条件に達すれば、校友会から同窓会開催費用の支援をします。同窓会幹事の方は是非ご相談ください。

◀写真は2015年7月に開催された、5期生の同窓会です。

後援の申請方法	申請方法や申請に必要な書類は、下記アドレスにお問い合わせください。 **連絡先：info-koyu@asu.ac.jp**

No Graduate, No ASU!

「学科×学科卒業生のコラボ事業の提案」

オープンキャンパスや大学祭、各種イベントなど、学生募集につながる活動を母校の各学科と校友会が協力して作り、様々な形で「愛産大卒業生」として協力・参加していきます。またそのコラボ事業費全てを、校友会から捻出する企画です。（事例:2015年2月14日、3月6日デザイン学科×卒業生コラボ「校友会卒業研究審査／審査員賞表彰式」）

卒業生という「大学の体験者」「卒業後のキャリアパス」が「リアルに学べる」教材を登場させ、他では真似のできない「価値ある教育」を目指し、母校が生き残る力になりたい。これは、母校で学び、社会に出て現場で働いている卒業生だからこそ可能な企画です。この企画は、広く社会に関心を持たれ、マスメディアに取り上げられ、母校を宣伝する大きな力にしたいと考えます。「コラボ事業の実施」により、様々な受験者層に広く興味を持ってもらい、愛産大の進学へつなげます。将来的には、母校の特別講義や実習にも参加し、履修授業として実施できるよう進めたい企画です。

2-1 コラボ事業参加者として記帳・登録してください!

今後行われるコラボ事業に、卒業生の出演、出店、出展、ボランティアを募ります。ご協力いただける方は、校友会webサイトにて、随時登録をお願いします。

2-2 アンケートにご協力ください!

現学長 堀越 哲美先生よりご依頼いただきました。アンケートは匿名で提出します。アンケート結果は、愛知産業大学および同校友会が広報活動の方針検討のために使用させていただきます。校友会webサイト、または下記のアドレスにてご記入お願いします。

http://goo.gl/XcBm4S または http://www2.asu.ac.jp/cms/wp/hirose/mate/enq

2-3 コラボ事業、校友会イベントに来場してください!

大学の行事に合わせて、校友会主催のイベントを企画します。ご家族、お友達をお誘い合わせの上、お越し下さい。母校を盛り上げて、楽しんでください!!
イベント日程は、会報誌巻末、校友会webサイト、校友会Facebookにて随時お知らせしていきます。

2-4 コラボ事業活動資金の募金にご協力お願いします!

主婦業や一般職などで「私は何も協力できない」とお思いの卒業生皆様!ご安心ください!愛産大卒業生ステッカー、Tシャツ、校友会活動資金の募金を募っています。イベント会場に募金箱を設けています、ご協力お願いします!!
募金総額、大口募金の卒業生は校友会webサイトなどに記載いたします。

校友会 webサイト facebook	PC / 携帯共通 http://www.asu-mate.com facebook検索 愛知産業大学校友会

校友会
新たな試み

愛知産業大学を卒業生が盛り上げよう!!

来たる2018年の18歳人口激減を目前にして、我われ母校も、改革の必要性に迫られています。校友会はこれからの　母校のために、卒業生として何ができるかを真剣に考え行動を開始します!!卒業生の皆様、力を貸してください!!!

HARAYAMA FESTIVAL

2016
愛知産業大学 大学祭
第24回

原山祭

11/5・11/6
SAT SUN
10:00〜18:00

原山祭 実行委員より

今年も愛知産業大学の大学祭＝原山祭が開催されます。今年のテーマは「幸せのおすそわけ」地域や来場者から親しまれる大学祭にしたい、愛知産業大学から幸せをおすそわけします。という意味を込めて、様々なイベントに力を入れています。模擬店投票や子供向けものづくり体験、大人気ビンゴゲームなど、参加型イベントが多数催されますので、ぜひ一緒になって楽しみましょう。また学内の装飾にも注目です。詳細については、愛知産業大学のwebサイトにてお知らせいたします。 URL▶http://www.asu.ac.jp/asu.ac.jp/

校友会企画 ホームカミングデイ 大人原山祭

校友会では毎年原山祭にて、卒業生同士の親睦促進や、在学生・大学との交流を目的に「卒業生がたまれる場所づくり」を企画しています。気心の知れた同窓生や先生とお話する場にご利用いただき、原山祭に足を運んでいただきますようお願いいたします。遠方から来られる卒業生の方々には、宿泊ホテルなどの案内もあります。 ※内容は一部変更になることがあります。

■ 日　時／11月5日(土)・11月6日(日)両日開催　10:00〜18:00(一部22:00)
■ 場　所／愛知産業大学　コミュニティホール1階 コミュニティホール前 バスロータリー

11/5 12:00〜 コミュニティホール1階 校友会の内覧会

多彩な業種の卒業生の活躍を伝え、校友会の活動PRと企画のクウォリティーを披露する「内覧会」を行います。先生や卒業生、在学生にお集まりいただき、会場にはドリンクと模擬店の軽食をご用意。先生や卒業生同士の親睦、大学との交流を深める場にご利用ください。

11/5 12:00〜 コミュニティホール1階 先輩と話そう

愛産大を卒業し、社会で活躍するクリエーターを講師として呼び、在学生、卒業生、来場者を対象とした授業を開催します。

11/5 19:00〜22:00 コミュニティホール1階 大同窓会 OPEN/18:00

今年は40歳(W成人式)を迎える5期生、6期生を中心に校友会主催の大同窓会を開催します。食事会、先生方と卒業生のスピーチ、余興、写真撮影など卒業生同士の親睦、大学との交流を深めるイベントをご用意。会費無料!アルコールOK!差入れ大歓迎です!

11/6 12:00〜 共有ステージ 校友会総会

校友会のPRや活動報告、役員の募集をします。毎年頑張っている卒業生役員に、エールを送ってください!

11/6 12:00〜共有ステージ 集まれ!卒業生記念撮影

校友会総会の最後、ステージに卒業生を集めて記念撮影をします。校友会webサイトや、次回会報誌に掲載。卒業生の皆様、お集まりください!

家族も友達もウェルカム！
お楽しみ企画満載!

11/5・6 10:00〜18:00 コミュニティホール1階
コミュニティホール前 バスロータリー

恒例の

ハラヤマ縁日

お子様連れの卒業生も原山祭をゆっくりすごせるよう、子供と楽しめる遊びや遊具をご用意。

記念作りコーナー

撮影コーナーや寄せ書き、写真貼り付け、卒業アルバム閲覧コーナーなどをご用意。先生と一緒に、同窓生同士、大学の思い出と再会の記念を作ってください。

卒業生作品展

多彩な業種で活躍する卒業生の"今"を伝える作品展。飲食業や販売業の「作品」もあります。

体験ワークショップ

創る・作るをコンセプトに卒業生が運営する体験型ワークショップ。革細工や消しゴムはんこ、Tシャツ手刷り体験ができます。

出展者募集

一人でも、卒業生のグループでも、モノ・コト問わず楽しい展示を実現しましょう。在学生・先生・卒業生同士のコミュニケーションやコラボレーションの場にも、お役立てください。概要詳細および、エントリーは校友会webサイトまたはFacebookにて案内します。

PC / 携帯共通 http://www.asu-mate.com
facebook検索 愛知産業大学校友会

貪欲に本物を見つめ、
美しさを創造する心を育ててほしい

愛知産業大学
造形学部・産業デザイン学科
元教授／プロダクトデザイナー

関口 由紀夫・せきぐち ゆきお

1934年神奈川県生まれ。1957年東京芸術大学美術学部図案科卒業。同年三菱電機（株）入社。以後、家電品から産業機器までのデザインに携わる。1971年、放電加工機で第1回機械工業デザイン賞（通産大臣賞）受賞。1993年、退職と同時に、愛知産業大学造形学部産業デザイン学科教授として赴任。2012年に退官。主な著書「プロダクトデザインの本」（1996年:平凡社）「奇跡のデザイン発想と創造の昭和」（2002年:平凡社）

voice of OB・OG

関口 由紀夫 先生
（造形学部 産業デザイン学科・1992-2012勤務）

愛産大を退官してから自然豊かな神奈川の七里ガ浜で、プロダクトデザイナー時代から収集した好きなモノに囲まれ、穏やかに暮らしています。

パイン材（松の建材）を使った自宅は、フィンランドの住宅です。樹脂などの人工の部材を一切使わず、外壁は木材ですから手入れは大変ですが、天然部材だからこその良質な空間を楽しんでいます。庭のバラも今では100本余り。もともと農家出身ですから、土いじりを苦に思うことはありません。

美術を意識したのは小学生のころ。絵が上手だとおだてられ、画家を目指し、中学・高校は神奈川県の実家から東京の成城学園に通いました。最初は戸惑いましたね。田舎者の私とは違い、生徒は金持ちのお坊ちゃんばかり。でも、東京の豊かな暮らしぶりや流行を肌で感じることができたことは、デザイナーにとって大切な体験だったと実感しています。高校時代は、美術スタッフとして演劇部に所属。舞台の書割なども作っていましたが、そんなアートの空気感も体が覚えているのでしょうね。若いころの体験は、大切な栄養だと思っています。芸大受験の予備校で、上手な人の作品を見たことも良かった。実際に鉛筆で書いては消し、消しては書いたライバルの作品から、学ぶことはたくさんありました。

卒業後、プロダクトデザイナーとして、洗濯機もテレビもデザインしましたが、もう無我夢中。当時ドイツのブラウン社のカミソリや電気製品が有名でデザイン性も高く、私どももそれを目指しましたが、日本では高級すぎて売れない。その点をうまくやったのが、パナソニック。現在のトヨタ自動車と同じで、カッコいいし、大多数の人たちがほしくなる製品を開発していましたね。

1960年代初頭、トヨタは高い走行性能でありながら、低価格の国民車「パブリカ」を世に送り出しました。パブリカは素晴らしい車でしたが、それだけではダメだということで、5年後にカローラを発表。デザイン性、機能、性能など、大多数の人々が欲する車を毎年、何十年もの間提供し続けることができるのが、トヨタの実力、世界で一番だと思います。

プロダクトデザインをやっていく以上、ボールペン1本にしろ、興味を持つことが大切です。私もスイスの名品といわれる置時計をやっと手に入れましたが、乾電池を入れ替えてみると、「うまくできているな」と実際の仕組みを理解することができます。写真や美術誌だけでは、その良さは伝わってこないと思う。良いものに触れれば、本物を見る目もできると思います。

プロダクトデザイナーから、大学教員へ転身したのは58歳。会社では生き方が下手で昇進できず、定年を前にして、自分のキャリアが生かせる教育の場で、新しい道を拓こうと考えました。会社に在職中に岩手大学で夏の集中講義を数年行っていましたが、意欲ある学生と接することの面白さを知ったことも、転身への引き金となりました。

人生は「塞翁が馬」。その都度一所懸命生きていれば、おのずと道は開けるものですね。愛産大開校から12年間教員を務めましたが、熱意のある優秀な学生に囲まれ、実り多い時代でした。

今は、1967年に購入した愛車のフォルクスワーゲンをレストアするなど、こだわりのモノに囲まれて、スローライフを満喫しています。アナログからデジタルへと時代は変遷しますが、美しいものを愛する心は変わらないと思います。皆さんも、貪欲に本物を見つめ、美しさを創造する心を育ててほしいと願っています。

voice of OB・OG

中山 亮介 さん

（造形学部 産業デザイン学科・2000年卒業5期生）

ロシナンテは発達障害や学習障害をもつお子さんを対象とした放課後等デイサービスです。他のお子さんと比べ「何ができないか」ではなく、「何が得意か」を一緒に考え、様々な学習や遊びを通して、お子さんの成長や発達を応援するために、2015年8月に立ち上げました。

とはいえ、ライフワークともいえるこの仕事に出会うまでに、たくさんのストーリーがありました。そんな様々な体験が、私の栄養になっているような気がします。まずは大学卒業後、独立を視野に東京のテレビ制作会社でADを2年間勤め、その後、フリーのADに。現場は鉄拳が飛んでくるような厳しさでしたが、ここで「負けない、あきらめない」という精神が培われたような気がします。運が良いことにテレビ局との信頼関係も生まれ、順調な毎日でしたが、家庭の事情で名古屋へ戻り、家業の工業デザイン事務所や広告代理店などを転々としました。そんな中、飛び込んできたのが、屋久島での職員募集。私は中南米へギターを背負ってバックパッカーの旅を繰り返し、南国の純朴な人情に魅せられていましたから、屋久島行きを即決意。通信制高校サポート校の職員として働き始めました。

これが新しい道の始まりです。島の人々と交流が深まる中、なぜか子どもの家庭教師をしてほしいと頼まれるようになり、最初は経験がないからと断っていたのですが、一人引き受け、また一人と次々と増えていき、じゃあ塾を開こうかと、会社を辞め、結婚したばかりの嫁と小さな学習塾を始めました。

大自然に囲まれた屋久島は、人々が温かいコミュニケーションで結ばれた素敵な島です。サッカー部の試合があればお母さんたちはお揃いのTシャツを着て応援し、塾の授業中はわが家の子どもを塾に来ている子のお母さんが預かってくれたりと、子育てを応援し合う環境はとても素晴らしかった。

そんなころ、実家の父が他界。曽祖父も祖父も父も、自営業で根を張った場所に戻らなければ、という思いがこみ上げてきました。故郷の名古屋で塾を開こうと。

私がロシナンテを立ち上げた一番の理由は屋久島で体験した温かいコミュニケーションや子育てに対する想いの中で、発達障害を抱えたお子さんに一番大切な安心感と自己肯定感を届けたかったからです。いつ誰が来てもこの二つを感じていただけることを目標に、「私たちの塾は、そんなお子さんたちの心の居場所にしたい」。

わずか数か月の準備期間中、施設の認可や実家をリノベーションしてロシナンテに仕立て上げるなど、目が回るほど忙しく、形式的な事務処理が苦手な私にとって、大変な毎日でした。そんな私が塾の開業にこぎつけられたのは、学生時代の体験があったから。大野幾生教授のゼミで「物事の本質を見ろ」と薫陶を受けたり、徹夜で卒業制作の福祉用具を仕上げたり、そんな貴重な体験が今の僕の大切なベースとなっています。

木の温もりに包まれ、畳敷の部屋で足を伸ばしたりできる居心地の良い空間が放課後ロシナンテ。屋上にバーベキューもできる開放的な場を設け、宿題をしたり、ギターを演奏したり、陶芸を体験したり、時には遠出をして公園で遊んだりと、様々な活動をしています。

ここは子どもたちがありのままの自分を表現できる場所。障害は一つの個性です。世界に一つしかない大切な個性を、ゆっくりと丁寧に磨いてゆくお手伝いしながら「子どもたちが毎日来たくなる塾」を目指しています。

放課後等デイサービス
学習支援塾　ロシナンテ代表

中山亮介・なかやま りょうすけ

1978年2月22日生まれ。名古屋市千種区出身。産業デザイン学科卒業後、東京のテレビ制作会社のADを皮切りにフリーのAD、デザイナーと多様な仕事を経験。その後、屋久島で学習塾を経営。地域ぐるみで子育てを応援する、温かな屋久島のコミュニケーションを名古屋でも実現したいという想いから、放課後等デイサービス・ロシナンテを開業。5年後10年後に、成長したロシナンテの子どもたちと酒を酌み交わすことが、目標。

大学時代の貴重な体験が、現在のベースに。
子どもたちを温かく見守る「放課後ロシナンテ」

イタリア研修での出会いから、この道へ。自家焙煎珈琲、イベント、ギャラリーと、笑顔が集う、隠れ家ギャラリー「えん」

水泡珈琲焙煎屋
隠れ家ギャラリー「えん」

服部浩太郎・はっとり こうたろう

1978年4月7日生まれ。名古屋市南区出身。ものづくりが大好きで、ロボット製作ができる愛知県立名南工業高校機械科へ。機械設計を生かしながらも、建築物の構造やデザインを学びに愛産大建築学科へ入学。バンド活動や山田雅美研究室での勉学など、充実した学生生活を過ごす。卒業後、コーヒー店勤務を経て、2003年水泡焙煎珈琲屋、隠れ家ギャラリー「えん」を相次いで開業。趣味も本業もコーヒーという無類のコーヒー好き。

Voice of OB・OG

服部 浩太郎 さん
（造形学部 建築学科・2001年卒業6期生）

建築学科のイタリア研修でエスプレッソに出会い、深くて濃い味わいの中にもクリアさがあるコーヒーにすっかりはまりました。建築もいいけど、コーヒー豆屋さんになりたいと、卒業後すぐコーヒー豆の焙煎をしているお店に勤めました。最初から独立するつもりでしたから、焙煎も覚えたかったし、焙煎屋開業の資金を貯めることが目的。入社後8か月で店長を任され、いろいろなノウハウを一気に身に付けることができました。

水泡珈琲焙煎屋の開業は、2003年。大学時代は軽音学部でバンドをやっていて、その名前に冠したのが「水泡」。水泡に帰す、という言葉にははかなさがありますが、僕の作るコーヒーはまさにそういう感じ。飲んだ時はすごく印象的ですが、はかなくすっと消えていくクリアな感じ。だけど後で思い出した時に、記憶に残るようなコーヒーでありたいと、この名を付けました。理想のコーヒーを提供するために、生豆の仕入れ、精製、焙煎と、ひときわこだわりをもっています。焙煎機は、名古屋に数台しかないといアメリカ製。生豆も必ず自分の五感で確認してから、仕入れています。

隠れ家ギャラリー「えん」の開店は、焙煎屋開業から数か月後。店舗物件を探していた時に南区の実家の近くで古民家を見つけ、リノベーションをほとんどすることなく、昔の暮らしぶりを彷彿させる空間をそのままカフェとしました。だから、床の間や畳、欄間、ガラス戸に至るまで、昔のまま。大きなちゃぶ台も古民家にあったものですし、トイレは昔の厠スタイル。床の間の掛け軸も大家さん所蔵のコレクションから、季節に応じて掛け替えています。

「えん」は、自家焙煎珈琲におやつにランチ、お稽古、ギャラリーとたくさんイベントが詰まったお店です。カフェの名前は、人の絆や縁をイメージ。年配の方から赤ちゃんまで、ここでくつろぎ、いろんな縁が広がっていけばいいなと。まだ名古屋に古民家カフェがなかった時期のオープンでしたから、最初は怪しげなイメージを持たれた方もいらっしゃったのですが、着物の着付けやお茶のお稽古など、地道にお稽古やイベントを続けていく中で評判が広まり、皆様に愛されるお店になりました。

最近では、お客様同士が仲良しになり、ここが「えん」で結婚された方も2組いらっしゃいます。陽のあたる縁側で、日常を忘れてくつろいでいただければと願っています。

こんなコミュニティスペースを実現できたのも、大学時代があったからと、つくづく思います。軽音学部では、自由でゆるやかな人間の関係性を、建築学科では、厳しさで有名な山田雅美研究室で学び、厳しさを乗り越えた先にある楽しさを学びました。自由と厳しさ、その両方が学んだからこそ、今がある。卒業設計では公共の複合文化センターを設計しましたが、そのエッセンスが「えん」には凝縮されていると思っています。

今後の目標は、地元南区呼続のまちづくり。主要メンバー10名、賛助会員80名が中心となり「この町が好き」と思えるほど、誰もが顔見知りで、安全・安心なまちを作り上げていきたいと思っています。これも都市計画を叩き込んでくれた山田先生の影響ですね（笑）。

今の若者は悟り世代と呼ばれているように、冷静に世の中を見ていますが、生きる力をしっかり蓄えています。そこから一歩踏み出せば、きっといろいろな世界が広がることでしょう。そして大学で学んだことも役立つはず。ぜひ、一歩踏み出して、いろんなことに挑戦してください。

平成28年度校友会活動報告・計画

1. 平成28年度常任役員会……2016/5/14、5/25、6/11
2. 平成28年度役員会……2016/6/11
3. 平成28年度総会……2016/11/6
4. 校友会会報誌発行……2016/9/12

平成27年度会計報告

「収入の部」

前年度（平成26年度）繰越……¥45,730,277
入会費（平成27年度入学生数＋3年次編入学生×¥4,000）
造形学部・経営学部 254名……¥1,016,000
同窓会費（平成26年度在籍者数×¥5,000）
造形学部・経営学部 749名……¥3,745,000
校友会育英・奨学金返還金 2名……¥75,250
収入の部　計……¥50,566,527

「支出の部」

会報誌事業費……¥2,505,042
校友会Webサイト更新管理費……¥128,474
大学祭事業費……¥3,500,000
同窓会事業費……¥47,912
名簿維持管理委託費……¥108,000
校友会育英・奨学……¥0
事 務 費……¥189,577
支出の部　計……¥6,479,005

「合　計」

収入の部　計……¥50,566,527
支出の部　計……¥6,479,005
合計……¥44,087,522

平成28年度校友会予算案

「収入の部」

前年度（平成27年度）繰越……¥44,087,522
入会費（平成28年度入学生数＋3年次編入学生×¥4,000）
造形学部＋経営学部 198名……¥792,000
同窓会費（平成28年度在籍者数×¥5,000）
造形学部 ＋経営学部 788名……¥3,940,000
校友会育英・奨学金返還金……¥0
収入の部　計……¥48,819,522

※入学者数、対象者数は平成28年5月集計に基づく

「支出の部」

会報誌事業費……¥2,506,000
校友会Webサイト更新管理費……¥125,000
大学祭事業費……¥1,000,000
同窓会事業費……¥1,000,000
準会員募集事業費（学科コラボ企画）……¥8,400,000
準会員募集事業費（校友会自主企画）……¥1,600,000
名簿維持管理委託費……¥54,000
校友会育英・奨学金……¥1,200,000
事務費……¥200,000
愛知産業大学学園創立110周年記念事業基金寄付…¥100,000
支出の部　計……¥16,185,000

「合　計」

収入の部　計……¥48,819,522
支出の部　計……¥16,185,000
合計……¥32,634,522

平成28年度校友会活動計画

1. 広報事業計画　校友会会報誌、校友会Webサイト、フェイスブック
2. 企画事業計画　大学に訪れる卒業生をおもてなしするイベント、同窓会
3. 準会員募集事業計画　入学生募集の学科コラボ、自主企画
4. 情報事業計画　会員名簿管理、校友会運営サイト運営管理
5. 校友会育英・奨学金制度　校友会が育英基金を出資し運営します
6. 校友会後援事業　校友会賞の実施　同窓会後援事業の実施

（詳しくは校友会webサイト　http://www.asu-mate.comまで）

平成28年度校友会　役員・常任役員

※（新）は新任

役員（正会員）／常任役員

第 1 期（1996年）　門井由佳（産／副会長）、森本達也（産／相談役）
第 2 期（1997年）　井原 勇（建／相談役）、菊川岳浩（建）
第 3 期（1998年）　檀 正宏（産）、関 辰昭（産）、宇佐美良太（産／会計監事）、廣瀬伸行（産／会計）
第 8 期（2003年）　前田和寿（産）
第 9 期（2004年）　森谷 誠（産）、上村大輔（産／幹事）
第10期（2005年）　鈴木健太（産／幹事）、金刺健太（建／幹事長）
第11期（2006年）　榎本 晋（産／幹事）、山田剛嗣（経／新・副会長）
第12期（2007年）　水野広大（産／会長）、嘉森大輔（産）、林 亨（産／幹事）
第13期（2008年）　三岡早苗（デ）
第14期（2009年）　菊池多江子（デ）
第15期（2010年）　植松 徹（デ／幹事）、近藤貴樹（デ／幹事）、榊原 翔（建／参与）、滝口小百合（デ）
第16期（2011年）　西田悠真（デ）、鈴木基公（デ）、北井美希（デ）、原田俊司（デ／幹事）、中曽根奈美（デ）、南 辰也（デ／幹事）
第17期（2012年）　鈴木朗文（デ）、秋山侑加（デ）、滝井真菜美（デ）、石田達也（デ）高橋輝（建）、舩坂僚祐（建）
第18期（2013年）　坂田拡基（デ／幹事）、堀亜由美（デ／幹事）、藤城美里（デ／幹事）
第20期（2015年）　水谷和生（デ）、鈴木摂子（デ）、加藤大地（経／会計監事）
第21期（2016年）　奥土居太一（新・デ）、吉川せいか（新・経）、鈴木智子（新・経）

役員（特別会員）

理事長（オブザーバー）……小倉紀彦 先生
学長……堀越哲美 先生
大学院研究科長……石川　清 先生
造形学部長……石川　清 先生
経営学部長……野々山隆幸 先生
建築学科長……新井勇治 先生
デザイン学科長……木村　光 先生
総合経営学科長……木村秀幸 先生
事務局長……新・伊藤旬二 先生
学生委員会委員長……後藤浩史 先生
教務学生部長……計屋昭生 先生
学生課長……光部達也 先生
校友会顧問……岩田政巳 先生
……新・木村秀幸 先生

校友会組織

広報委員会……門井由佳・宇佐美 良太
企画委員会……金刺健太・森谷　誠
情報委員会……廣瀬伸行

愛知産業大学校友会　育英・奨学金の概要

対　　象：愛知産業大学学生で、成績優秀、品行方正にして、かつ経済的事情のために就学困難と認められる者に対して、奨学金を貸与（無利子）します。
定　　員：年間2名
貸与金額：50,000円（月額）
採用条件：対象条件に該当する者で、各学科長の推薦を受けた者。原則、日本学生支援機構奨学金を受けていない者。3・4年生を対象とする。（応募多数の場合は4年生を優先する）連帯保証人を必要とする。
選考方法：奨学金の決定は、提出された奨学金願書に基づき、審査委員会で審議し決定する。
返済期限：原則、卒業後5年以内とする。（無利子）ただし、大学院等への進学者については、返済を猶予する。

※返済期限を2年から5年以内へ変更しました。

Information

会報誌が届いていない卒業生をご存知の方へ

愛知産業大学造形学部・経営学部を卒業したのに会報誌が届いていないという方をご存知ありませんか。会報誌が転居先不明などで届かなかった場合は、次回からの会報誌発送を止めています。もし、届いていないという方をご存知でしたら、ご本人様から、現在の連絡先を本誌連絡先までお知らせいただきますようお伝え願います。

Renewal! 校友会webサイト / facebook

校友会では下記URLでwebサイト、facebookを運営しています。最新情報の閲覧、情報交流はもちろん、各種問い合わせ、大学祭の出店エントリーなどがwebサイト上からも可能ですのでご活用ください。

PC / 携帯共通
http://www.asu-mate.com

facebook検索
愛知産業大学校友会

役員・常任役員の募集

校友会とは、母校と卒業生とのネットワークづくりや、親睦を深めるための活動を目的として発足された団体です。運営は卒業生各期の代表である役員と常任役員が行っています。役員は年に1回以上、役員会にて計画された校友会活動についての決議を行います。常任役員は、校友会活動の計画と実際の運営を行います（現在は、メーリングリストにて活動中）。

特に、造形学部建築学科生と経営学部生の役員を募集中です。参加ご希望の方は、下記までご連絡ください。また、役員とあわせて、活動にご参加いただける有志の方の募集も行っておりますので、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

連絡先

〒444-0005
愛知県岡崎市岡町原山12-5　愛知産業大学　校友会
fax:0564-48-7756　mail:info-koyu@asu.ac.jp
※スタッフ常駐ではないため、なるべくメールでのご連絡をお願いします。

愛知産業大学 校友会会報誌　ASU communication vol.14　2016年9月12日発行

平成28年度 校友会スケジュール

大学の行事に合わせて、校友会主催のイベントを多数ご用意しています。卒業生の皆様、同期生やご家族お誘い合わせの上、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

●2016年11月5日（土）、6日（日）　10:00～18:00　場所／愛知産業大学コミュニティーホール1階、バスロータリー前
愛知産業大学大学祭　校友会企画「大人原山祭」
5日（土）　12:00～ 校友会の内覧会　18:00～　大同窓会
6日（日）　12:00～ 校友会総会／卒業生記念撮影

設営11月4日（金）9:00～22:00
撤去11月6日（日）17:00～22:00
※設営・撤去のボランティアも募集しています。

●2017年2月10日（金）～12日（日）　10:00～18:00　場所／愛知産業大学各フロア
造形学部デザイン学科「卒業研究・制作展／学内展　校友会卒業研究審査」　12日（日）19:00～ 校友会懇親会

●2017年3月5日（日）13:00（展示は2月28日（火）～5日（日）10:00～18:00）　場所／愛知県美術館ギャラリー
造形学部デザイン学科「卒業研究・制作展／学外展　校友会卒業研究審査員賞表彰式」

●校友会卒業研究審査員賞
平成27年度卒業研究より、準会員である在学生や母校の研究成果の評価と制作意欲向上のため「校友会卒業研究審査員賞」の授与を実施します。卒業研究作品展を行っているデザイン学科から開始します。
■対象：卒業研究（作品・論文）
デザイン学科／学内展にて、卒業生が審査。学外展で表彰。
建築学科／審査方法、表彰について検討中。　総合経営学科／審査方法、表彰について検討中。

●2017年3月18日（土）　愛知産業大学卒業式　謝恩会「退職される恩師へ、校友会花束贈呈」

詳しくは、校友会webサイト（http://www.asu-mate.com）またはfacebook「愛知産業大学校友会」でアナウンスしています。